

III 写真管理

(白紙)

目 次

1 (適用範囲)	129
2 (工事写真の分類)	129
3 (工事写真の撮影基準)	129
4 (契約書第 25 条、26 条、27 条、28 条の規定に関する措置)	130
5 (写真の省略)	130
6 (写真の編集等)	130
7 (撮影の仕様)	130
8 (撮影の留意事項等)	130
9 (整理提出)	131
10 (用語の定義)	131
11 (デジタル工事写真の黒板情報電子化について)	131
共通事項 撮影箇所一覧	133
第 3 章 一般施工 撮影箇所一覧	135
第 4 章 土工 撮影箇所一覧	138
第 5 章 無筋・鉄筋コンクリート工 撮影箇所一覧	139
第 6 章 用排水路工事 撮影箇所一覧	140
第 7 章 管水路工事 撮影箇所一覧	142
第 8 章 ダム 撮影箇所一覧	143
第 9 章 コンクリート橋上部工 撮影箇所一覧	145
第 10 章 鋼橋上部 撮影箇所一覧	147
第 14 章 道路 撮影箇所一覧	150
第 15 章 客土 撮影箇所一覧	153
第 16 章 暗渠排水 撮影箇所一覧	155
第 19 章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧	156
第 19 章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧	157
堆肥盤・バンカーサイロ 撮影箇所一覧	163

第 20 章 植栽 撮影箇所一覧	164
第 23 章 区画整理工事 撮影箇所一覧	165
第 24 章 砂利道路面処理工事 撮影箇所一覧	166
第 25 章 海岸保全施設整備工事 撮影箇所一覧	167
第 26 章 ため池改修工事 撮影箇所一覧	170

Ⅲ 写真管理

1 (適用範囲)

この写真管理は、施工管理に定める工事写真（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。
また、写真を映像と読み替えることも可能とする。

2 (工事写真の分類)

工事写真は、次のように分類する。

- 着手前及び完成写真（既済部分写真等を含む）
- 施工状況写真
- 安全管理写真
- 使用材料写真
- 品質管理写真
- 出来形管理写真
- 災害写真
- 事故写真
- その他（公害、環境、補償等）

3 (工事写真の撮影基準)

工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表による。

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を被写体とともに写しこむものとする。

- ①工事名 ②撮影月日 ③工種 ④測点（位置） ⑤設計寸法 ⑥実測寸法 ⑦略図

なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。特殊な場合で工事監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

1) 撮影方法に関する一般的事項

- ① 写真の説明用として、小黒板に必要事項を記入して撮影する。
- ② 小黒板は下図のものを標準とする。それ以外の大きさを使用する場合は、施工計画書に記載すること。

50 cm	令和〇〇年度 〇〇営 〇〇事業 〇〇地区 〇〇工区		
	工 種		略図
	撮 影 月 日		
	測 点		
	設 計 寸 法		
	実 測 寸 法		

70 cm

60 cm	令和〇〇年度 〇〇営〇〇事業 〇〇地区 〇〇工区	
	工 種	
	撮 影 月 日	月 日
説明事項		

60 cm

- ③ 全景写真等、遠方から撮影したため黒板の記入事項が判読できないときは、黒板のみを対象とした部分写真をとり、2枚で確認する。
ただし、現場全景・主要構造物の完成後写真については、PR用にも利用できるもので、必ずしも黒板設置して写し込まなくてもよい。
- ④ 撮影方向は測定方向に直角に近い角度で撮影する。
- ⑤ 構造物は、できる限り全体が一枚に入るような構図を考える。
- ⑥ 必要に応じて現場全景写真等に、区域・起終点・測点・延長・流水方向を赤インク等で書き加えておくとよい。

4 (契約書第 25 条、26 条、27 条、28 条の規定に関する措置)

この基準にかかわらず契約書第 25 条、26 条、27 条、28 条の規定により請負代金額が変更となるおそれのあるときは、その都度出来形を撮影記録するものとする。

5 (写真の省略)

工事写真は、次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 工事監督員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真を省略するものとする。
臨場時の状況写真についても省略するものとする。
- (4) 施工状況写真のうち、産業廃棄物の運搬及び処理について、産業廃棄物管理票（紙マニフェストまたは電子マニフェスト）で確認できる場合は、撮影を省略するものとする。

6 (写真の編集等)

写真の信頼性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、「12 (デジタル工事写真の小黒板情報電子化について)」に基づく小黒板情報の電子的記入はこれに当たらない。

7 (撮影の仕様)

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黒板の文字が判読できることを指標とする。
(100 万画素程度～300 万画素程度＝1, 200×900 程度～2, 000×1, 500 程度)

8 (撮影の留意事項等)

別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

- (1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容に合致しない場合は、工事監督員と協議の上、追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、モバイル端末等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等）を参考図として作成する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については工事監督員と写真管理項目を協議の上、取り扱いを定めるものとする。

9 (整理提出)

- (1) 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した全ての写真原本を電子媒体に格納し、工事監督員に提出するものとする。
- (2) 写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「農業農村整備事業 電子納品運用の手引き(案)【工事編】」6. 5. 工事写真の整理に基づくものとする。なお、電子媒体で提出しない場合は、「11 フィルムカメラを使用した場合の写真管理(案)」による。

10 (用語の定義)

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の様子が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 整理条件の不要とは、デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいうが、前条第1項のとおり、電子媒体に格納し提出するものとする。

11 (デジタル工事写真の小黑板情報電子化について)

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、契約締結後、監督員の承諾を得た上で、デジタル工事写真の小黑板情報電子化対象とすることができ、下記の(1)から(4)まで全てを実施することとする。

(1) 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降、「使用機器」という。)については、Ⅲ 写真管理「3 (工事写真の撮影基準)」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>)に記載している技術を使用すること。また、受注者は監督員に対し、工事着手前に、工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)を参照すること。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

(2) デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、(1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、Ⅲ 写真管理「3 (工事写真の撮影基準)」による。ただし、工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

(3) 小黑板情報の電子的記入の取扱い

工事写真の取扱いは、Ⅲ 写真管理及び「デジタル写真管理情報基準の一部改正について※令和5年3月 国土交通省」に準ずるが、(2)に示す小黑板情報の電子的記入については、Ⅲ 写真管理「6 (写真の編集等)」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

※デジタル写真管理情報基準(国土交通省HP)のURL

http://www.cals-ed.go.jp/cri_point/

(4) 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、(2)に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黑板情報電子化写真」という。)を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。

なお、納品時に受注者はチェックシステム(信憑性チェックツール)※またはチェックシステム(信憑性チェックツール)※を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督員が確認することがある。

※チェックシステム(信憑性チェックツール)のURL

<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>

共通事項 撮影箇所一覧

分類	区分	写真管理項目			撮影方法	
		撮影項目	撮影頻度	整理条件		
着手前・完成	着手前	全景または代表部分写真	面工事 1施工箇所（団地）1回	代表箇所 1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・工事区域全体の状況が把握できる構図とする。 ・高所、建物の屋上などを利用する。 ・1回に入らないときは、つなぎ写真とする。 	
			線工事 代表箇所1回	代表箇所 1枚		<ul style="list-style-type: none"> ・起点から終点に向けて撮影する。
	点工事 （ダム、頭首工等） 代表箇所1回		代表箇所 1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・全体が把握できるよう正面、背面、側面方向より撮影する。 		
	完成	全景または代表部分写真	工事着手前に同じ	工事着手前と同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・着手前と同地点、同方向より撮影する。 	
施工状況写真	工事施工中	全景または代表部分の工事進捗状況	月1回	不要		
		施工中の写真	工種、種別ごとに設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるよう適宜	適宜		
			工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜	不要	<ul style="list-style-type: none"> ・工事特性、創意工夫、社会性等に関する実施状況報告書に添付。 	
		土質の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 1枚		
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて〔発生時〕	不要	※打合簿に添付する。	
	準備	伐開	4,000㎡に1回または1工事に2回 補修の対象木は伐切前後を1回づつ	代表箇所 1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・伐切前には目通り寸法が判定できるよう、また、伐切後の断面にはペンキ等で番号を記入して撮影する。 	
			丁張、やり形	1工事2回		代表箇所 1枚
	仮設	工事用道路	新設道路 施工段階ごと1回	代表箇所 1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・起点から終点に向けて撮影する。 	
			既設道路を利用 主要路線ごと1回			
		仮橋、仮締切等	着手前、施工中、完成時 各1回	代表箇所 1枚		<ul style="list-style-type: none"> ・完成時は別途、出来形、測定している写真が必要。
指定仮設		着手前、施工中、完成時 各1回	代表箇所 1枚			
	工事の及ぼす影響	適宜	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・施工機械の振動による建物のクラック、井戸水の枯渇が予想される場合の建物について撮影する。 		
洗浄	病虫害の感染予防対策	1工事2回	代表箇所 1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄後の状態確認のため、作業機械の洗浄状況、完了状況を撮影する。 		
洗浄・消毒	口蹄疫等侵入防止対策	1工事2回	代表箇所 1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・機械洗浄及び消毒確認のため、作業機械の洗浄状況、消毒状況、完了状況を撮影する。 		
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕	全景1枚		
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕			
		監視員交通整理状況	各1回〔作業中〕			
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回〔実施中〕			不要

共通事項 撮影箇所一覧

分類	区分	写真管理項目			撮影方法
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	整理条件	
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目ごとに1回〔使用前〕	不要	<ul style="list-style-type: none"> 品質、規格証明書に添付する。 1回の写真で径、長さ等を確認する。 土壌改良材等の袋物は、空袋の数量が確認できるように撮影する。 JIS規格品については寸法の検測は省略できる。
		品質証明 (JISマーク表示)	各品目ごとに1回		
		検査実施状況	各品目ごとに1回〔検査時〕		
施工機械	施工機械	機種、規格	機種ごと	適宜	<ul style="list-style-type: none"> 施工状況確認の写真で機種が確認できるように撮影する。ただし、排出ガス対策型及び低騒音・低振動型建設機械を使用する場合の機種の撮影については不要とする。
災害	災害	出来形	適宜	適宜	<ul style="list-style-type: none"> 水路工—法天端までの被災状況を、ポール・標尺等により断面の寸法が確認できるよう撮影する。 地すべり等—地形勾配がはっきり分かるよう、1測線について被災面上部から下部にかけて、ポールをあてた全断面を撮影する。 また、地震等による被災状況については、地割れの程度、地形的な範囲を確認できるよう撮影する。 橋梁—橋梁下部の地震による杭の屈折、橋長変化等、被災状況が確認できるよう撮影する。 頭首工—被災全景写真を撮る。ただし、エプロン等のパ化ソグ状況は部分写真が必要。 海岸—当初断面（定規）からの滑落状況が把握できるようにポール・標尺等をあてて撮影する。
		臨機の措置	適宜	適宜	
		被災の状況	適宜	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前付近の写真でも可
その他	補償関係	被害または損害状況等	その都度〔発生前〕 〔発生時〕 〔発生後〕	適宜	発生前付近の写真でも可
	現場環境改善等	各実施状況	適宜	適宜	

第3章 一般施工 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
3 一般施工	3 共通の 工種	4 矢板工	矢板工 (木杭を含む)	矢板長	種別ごとに1回	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ペン等で矢板番号及び1.0m間隔に矢板長を表示する。 ・最初の矢板、建込については位置、傾斜が確認できるようにする。 ・打込み終了後の全体状況。
				建込及び打込	矢板10枚または施工延長40mに1回 木杭については、線的なものは50mに1本、点的なものは20本に1本測定するが、線的で2本並列使用となる場合は、1本を1セット(2本)と読み替える。	代表箇所1枚	
				溶接	矢板5枚または施工延長20mに1回	代表箇所1枚	
				打込長、変位測定		代表箇所1枚	
3 一般施工	3 共通の 工種	5 法 枠工	法面保護工	掘削、法面整形	100mまたは代表箇所ごと1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・施工方法(人力、機械)を確認する。 ・排水パイプ、マット等の布設状況。 ・法枠の組立及び布設状況。
				法面排水工	100mまたは代表箇所ごと1回	代表箇所1枚	
				法枠組工	100mまたは代表箇所ごと1回	代表箇所1枚	
				法枠中詰工	100mまたは代表箇所ごと1回	代表箇所1枚	
				法長、延長	100mまたは代表箇所ごと1回	代表箇所1枚	
3 一般施工	3 共通の 工種	6 吹 付工	コンクリート及びモルタル吹付け	全景	施工ヶ所ごと2回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・ラス張り前及びラス張り後の全景とする。 ・検測孔は孔の番号を吹付面にペン等で表示し、コアには番号を付す。
				厚さ	200mごとに1回	代表箇所1枚	
				作業状況	500mごとに1回	代表箇所1枚	
3 一般施工	3 共通の 工種	17 法 覆 基 材 工	法覆基材工	施工状況	4,000㎡に1回または1工事に2回	代表箇所1枚	
3 一般施工	4 基 礎 工	1 一 般 事 項	砂利基礎 砂基礎	幅、厚さ	100mに1回または作工物ごと各断面に1回	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・水平に近い方向で、測定孔の底まで見えるようにし、1回の写真で幅、厚さとも確認する。 ・基礎天端を示す杭は箱尺の後方におく。 ・両端を示す杭を立てる。

第3章 一般施工 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
3 一般施工	4 基礎工	4 既製杭工	杭打基礎 (鋼管杭、コンクリート杭)	敷均し、転圧状況	200mに1回または作工物ごとに1回	代表箇所1枚	・施工状況。
				杭径、杭長	種別ごとに1回	適宜	・杭ごとにまとめて撮影する。 ・ペン等で杭番号及び1.0m間隔に杭長を表示する。
				建込及び打込	杭5本または施工延長20mに1回	代表箇所1枚	・杭番号を確認できるように撮影する。 ・打込状況を確認する。
				杭継手 打込長偏心量 測定	杭3本または施工延長10mに1回	代表箇所各1枚	・上杭、下杭とも杭番号を表示する。 ・現場、継手状況についても撮影する。
				溶接		代表箇所1枚	・全周が確認できるように撮影する。
				杭頭状況	杭5本または施工延長20mに1回	代表箇所1枚	・打込終了後の全体状況。
				杭頭処理		代表箇所1枚	・切断前に必要切断長を確認する。 ・切断後の残材は杭番号及び長さを確認する。
				杭間隔		代表箇所1枚	・全景として杭頭処理後に撮影する。
3 一般施工	4 基礎工	7 オープン・ケーソン	オープン・ケーソン	厚さ、幅、高さ、長さ	全ロッドの1/3	代表箇所1枚	・沓先端より50cmごとにペン等で表示する。
				沓	全数の1/3	代表箇所1枚	・据付時に撮影する
				沈設状況	全ロッドの1/3	代表箇所1枚	・沈設開始及び終了後を対比できるように撮影する。
				中埋工	全数の1/3	代表箇所1枚	・中埋開始及び終了後に撮影する。
				荷重	全ロッドの1/3	代表箇所1枚	・荷重の品名と載荷量を確認し、載荷量の最大時点を撮影する。

第3章 一般施工 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
3 一般施工	5 石・ブロック積(張)工	3 コンクリートブロック工	積ブロック水路	ブロック据付	200mに1回	代表箇所1枚	・据付状況。
				厚さ	100mに1回	代表箇所1枚	・ブロック面より胴込コンクリート背面までの厚さを側面から水平方向に撮影する。 ・法長2m未満は中間点を、また、2m以上は上から1/3、下から1/3の2点を撮影する。
				胴込コンクリート打設	200mに1回	代表箇所1枚	・胴込コンクリート打設状況及び突固め状況。
				インバートコンクリート打設	200mに1回	代表箇所1枚	・インバートコンクリート打設状況及び突固め状況。
				インバートコンクリート厚さ	100mに1回	代表箇所1枚	・打設後の厚さを確認する。
				裏込砂利敷均し、転圧状況	200mに1回	代表箇所1枚	・転圧状況
				裏込砂利厚さ	100mに1回	代表箇所1枚	・転圧後の厚さを確認する。
				幅、厚さ	100mに1回	代表箇所各1枚	・1枚の写真で全体を確認する。
			法長	100mに1回	代表箇所1枚		
			連結ブロック水路	ブロック据付	200mに1回	代表箇所1枚	・ブロック表面にペン等で番号を記入する。
				敷幅、法長	100mに1回	代表箇所各1枚	・重ね長を確認する。
				防砂シート	200mに1回	代表箇所1枚	・施工中の連結線の全長を確認する。
				連結線	200mに1回	代表箇所1枚	・施工中の連結線の全長を確認する。
				植生工	200mに1回	代表箇所1枚	・施工状況。
3 一般施工	6 一般舗装工	5 6	コンクリート、アスファルト舗装工	厚さ	100mに1回	代表箇所1枚	・施工継手の断面を撮影する。
				法長	100mに1回	代表箇所1枚	
3 一般施工	10 仮設工	6 土留・仮締切	立坑工	施工状況(立坑設置状況、立坑基礎設置状況)	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・施工状況。
				寸法	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・施工後の幅を確認する。
				深さ	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・施工後の深さを確認する。
		立坑土工	施工状況	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・掘削状況。	
			砕石基礎幅	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・施工後の幅を確認する。	
			砕石基礎厚	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・施工後の厚さを確認する。	
			底版コンクリート幅	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・施工後の幅を確認する。	
底版コンクリート厚	1 施工箇所1回	代表箇所1枚	・施工後の厚さを確認する。				
3 一般施工	13 汚濁防止工	1 汚濁防止工	仮設工	濁水処理	1 工事に2回	代表箇所1枚	・処理状況。

第4章 土工 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
4	土	工	土工	掘削の幅、法長、深さ	線工事 100mに1回	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の写真で幅・法長・掘削深を確認する。 ・2方向から撮影する。 ・掘削工法が確認できるように撮影する。
					点工事 1ヶ所に2回	代表箇所各1枚	
					ダム、頭首工 堤軸40mごとに1回	代表箇所各1枚	
				掘削状況	400mに1回または作工物ごとに2回	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・掘削中に予期しない湧水、土質の変化を生じたなどの状況変化ごとに詳細に撮影する。
				盛土の幅、法長、盛高	線工事 100mに1回	代表箇所各1枚	
				盛土状況 (敷均し、転圧)	400mに1回または作工物ごとに2回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・転圧状況 ・各層の仕上り厚 (30cm以内) ごとに撮影する。
				段切・置換	400mに1回または作工物ごとに2回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・施工状況
				幅、法長、深さ	100mに1回または作工物ごとに2回	代表箇所各1枚	
				床堀(幅、深さ)	作工物ごとに2回	代表箇所各1枚	
				埋戻し状況	作工物ごとに2回	代表箇所1枚	
				法覆基材施工状況	4,000㎡に1回または1工事に2回	代表箇所1枚	
				法覆基材完了時			

第5章 無筋・鉄筋コンクリート工 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
5	無筋鉄筋コンクリート		コンクリート構造物	鉄筋組立	全景及び各断面ごと、本数、間隔長さ、継手位置かぶり等が確認出来るものを1回	代表箇所1枚	・間隔、全体の本数、かぶりを確認する。 ・アルバムには鉄筋配置図と対比する。
				鉄筋の組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験（電磁誘導法、電磁波レーダ法	試験毎に1回 [試験実施中]	
				型枠組立		代表箇所1枚	・据付状況、完了等について撮影する。
				支保工・足場	作工物ごと1回	代表箇所1枚	
				伸縮継手	作工物ごと1回	代表箇所1枚	・幅、長さ等を確認する。
				打継目	1カ所に1回	代表箇所1枚	・レイトン除去、清掃状況を撮影する。
				コンクリート打設	作工物ごと1回	代表箇所1枚	・シュートの状況、ミキサーの位置、小運搬の状況等 ・突固め状況及びバンププレートを撮影する。
				厚さ、幅、高さ	全体の1/3ただし、不可視部分は各断面ごと1回	代表箇所各1枚	・可能な限り1回の写真で厚さ、幅、高さを同時に確認する。 ・脱型後の幅、厚さ等について撮影する。
				養生	作工物ごと1回	代表箇所1枚	・養生状況を撮影する。
				均しコンクリート	作工物ごと1回	代表箇所1枚	

第6章 用排水路工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
6 用排水路工事	5 水路工	3 現場打コンクリート水路工	現場打コンクリート水路	鉄筋組立	1スパンに1回、全景及び各断面では細部については1回ずつ	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・間隔、1スパンの本数を確認する。 ・アルバムには鉄筋配置図と対比する。
				型枠組立	2スパンに1回	代表箇所1枚	
				支保工、足場	1工事2回	代表箇所1枚	
				厚さ、幅、高さ	100mに1回	代表箇所各1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・脱型後1回の写真で全体を確認する。
				ジョイント部分	200mに1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・止水板、目地材、ダウエルバーの設置状況。
				裏込砂利敷均し、転圧状況	200mに1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・転圧状況。
				裏込砂利厚さ	100mに1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・転圧後の厚さを確認する。
				水抜管、アップリスト	1工事2回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・設置状況及び1スパンに於ける設置位置、ヶ所数を確認する。
6 用排水路工事	5 水路工	4 プレキャストトラフ水路工	フリーフォーム型コンクリート二次製品水路	目地	200mに1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・施工状況及び間隔について撮影する。
				布設状況	200mに1回	代表箇所1枚	

第6章 用排水路工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
6 用排水路 工事	6 護岸工	10 柵渠工	コンクリート柵 渠水路	コンクリート 柵板等据付	200mに1回	代表箇所1枚	・敷板、親柱、柵板の据付状況。
				裏込砂利敷均 し、転圧状況	200mに1回	代表箇所1枚	・転圧後及び転圧状況。
				裏込砂利厚さ	100mに1回	代表箇所1枚	・転圧後の厚さを確認する。
				基礎工	200mに1回	代表箇所1枚	・床均、敷板設置等の施工状況。
6 用排水路 工事	8 カルバート工	5 現場打カルバート工	函渠工	鉄筋	1スパンごとに1回	代表箇所1枚	・間隔、カブリ、本数を確認する。
				厚さ、幅、高さ	3スパンごと1回	代表箇所1枚	・脱型後1枚の写真で全体を 確認する。
				ジョイント部 分	200mに1回	代表箇所1枚	・止水板、目地材、クワエルバーの 設置状況を撮影する。
6 用排水路 工事	9 サイホン工	4 現場打サイホン工	現場打サイホン 工	鉄筋	1スパンごとに1回	代表箇所1枚	・間隔、カブリ、本数を確認する。
				厚さ、幅、高さ	3スパンごと1回	代表箇所1枚	・脱型後1枚の写真で全体を 確認する。
				ジョイント部 分	200mに1回	代表箇所1枚	・止水板、目地材、クワエルバーの 設置状況を撮影する。

第7章 管水路工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
7	管水路工事		管水路	掘削幅、掘削深	路線毎400mに1回、ただし断面毎に1回撮影すること。	断面毎に代表箇所1枚	・埋設深がある場合は掘削深を省略できる。
				埋設深	路線毎400mに1回、ただし断面毎に1回撮影すること。	断面毎に代表箇所1枚	・最小深となる位置で撮影
				管布設	路線毎に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。 ・管表面の番号がわかるように撮影（管水路工）
				管接合	200mに1回 但し異型管は種類ごと	代表箇所1枚	・接合及び巻立状況。 ・既設管との接合状況。
				弁類、流量計	各種別ごと代表的なもの	代表箇所1枚	・設置状況。
				埋戻し	400mに1回	路線毎に代表箇所1枚	・転圧及び人力埋戻しと機械埋戻しの区分を確認する。
				漏水試験	測定開始及び終了時	代表箇所1枚	・試験方法を確認する。
				水圧試験	試験実施区画ごと	代表箇所1枚	・試験方法を確認する。

第8章 ダム 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
8 ダム			洪水吐	均しコンクリート打設	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況。
				均しコンクリート幅、長さ、厚さ	40mに1回	代表箇所1枚	
				鉄筋	1スパンに1回、全景1回及び各断面ごとに1回	代表箇所1枚	・ 位置、間隔、継手長。
				型枠	1スパンに1回	代表箇所1枚	据付状況、完了等について撮影する。
				支保工	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 設置状況。
				コンクリート打設	40mに1回	代表箇所1枚	・ 施工状況。
				養生	40mに1回	代表箇所1枚	・ 養生状況。
				躯体幅、長さ、高さ	全スパンの1/3 ただし、不可視部分は全スパン各断面ごとに1回	代表箇所1枚	
				伸縮継手幅、長さ	1ヶ所ごと1回	代表箇所1枚	
				打継目	1ヶ所ごと1回	代表箇所1枚	・ 清掃状況。
8 ダム	3 掘削工	2 掘削分類	堤敷掘削工	表土掘削	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				人力掘削	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				機械掘削（発破）	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				事前カット	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				窄孔	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				装薬	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				配線	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				発破	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				小割	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				幅、延長、深	堤軸40mに1回	代表箇所1枚	
				堤敷部岩盤清掃	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。 ・ 全体の状況が把握できるよう撮影する。
				遮水部岩盤清掃	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				雨水処理	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 処理状況を確認。
				湧水処理	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
捨土積込	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。				
捨土運搬	1工事に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。				
捨土処理	1工事に2回	代表箇所1枚					
8 ダム	3 掘削工	6 不良岩等の処理	断層、空洞部処理工	掘削	1ヶ所に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				敷均し、転圧	1ヶ所に2回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認。
				幅、長さ、厚さ	1ヶ所に2回	代表箇所1枚	

第8章 ダム 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
8 ダム	4 ファイル ダム		品質管理	密度試験	1試験に2回	不要	・試験状況。
				含水量試験	1試験に2回	不要	・試験状況。
				粒度試験	1試験に2回	不要	・試験状況。
				透水性試験	1試験に2回	不要	・試験状況。
				締固め試験	1試験に2回	不要	・試験状況。
				埋設計器の観測、	1工事に2回	不要	・観測状況。
				その他の観測	1工事に2回	不要	・観測状況。
8 ダム	4 ファイル ダム	1 盛立工	盛土工	土取場伐開	1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				土取場表土 (掘削、積込、運搬)	1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				盛土材料 (掘削、積込、運搬)	1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				安全管理	1工事に2回	代表箇所1枚	・安全管理状況。
				ヤード造成	1ヶ所に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				ヤード 幅、長さ、高さ	1ヶ所に2回	代表箇所1枚	・出来形寸法確認。
				岩盤検査	1回に2回	代表箇所1枚	・岩盤面及び検査状況。
				コンタクトク レイ	1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				まき出し	各材料1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				まき出し厚	各材料1層に1回	代表箇所1枚	・厚さ
				オーバーサイ ズ及び雑物除 去	各材料1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				転圧	各材料1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				法面整形	1工事2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				幅、延長	各材料1層に1回	代表箇所1枚	
				幅、延長、盛高、 法長	堤軸40mに1回	代表箇所1枚	
				盛立開始前表 面処理(かき起 し)	3~5層に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				雨水処理	1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認。
				間隙水圧計	1工事に2回	代表箇所1枚	・埋設状況。
				層別沈下計	1工事に2回	代表箇所1枚	・埋設状況。
				岩盤変位計	1工事に2回	代表箇所1枚	・埋設状況。
				その他	1工事に2回	代表箇所1枚	・埋設状況。

第9章 コンクリート橋上部工 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
9	4	3	ポストテンション桁橋 主桁製作	製作ヤード	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。
				製作台	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・組立後、幅、長さを確認する。
				型枠	型枠ごとに1回以上	代表箇所1枚	・仮組後、幅、高さ等を確認する。
				鉄筋、シーース組立	桁ごとに1回以上	代表箇所1枚	・組立後、位置、間隔、継手等を確認する。
				型枠組立	桁ごとに1回	代表箇所1枚	・組立後、状況を撮影する。
				支保工	桁ごとに1回	代表箇所1枚	・組立後、状況を撮影する。
				コンクリート打設	桁ごとに1回	代表箇所1枚	・打設状況を撮影する。
				養生	桁ごとに1回	代表箇所1枚	・養生状況を撮影する。
				幅、高さ	桁ごとに1回	代表箇所1枚	
				プレストレッシング	桁ごとに1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。
				グラウトプラント	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・施設状況を撮影する。
			グラウチング	桁ごとに1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。	
9	4	6	支承	支承及びアンカーボルト	支承端ごと1回以上	代表箇所1枚	・可動側と固定側が明らかになるように撮影する。(背景、方向、拡大写真) ・アンカーがアンカーキャップの中央にあることがわかること。
9	4	7	架設	架設状況	1スパン1回	代表箇所各1枚	・作業機械、作業状況を撮影する。
9	4	8	架設	軌条設備	1工事1回但し左右岸布設の場合はそれぞれ1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。
				架設ガーターまたはトラックレーン	組立1回、解体1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。
				主桁移動	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。

第9章 コンクリート橋上部工 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
9 コンクリート橋上部工	4 PC橋工	9 床版・横組工	床版工、 横桁工	吊り足場	1橋に1回	代表箇所1枚	・設置状況を撮影する。
				鉄筋	1スパンに1回以上	代表箇所1枚	・間隔、本数を確認する。
				シース	1スパンに1回以上	代表箇所1枚	・布設位置を確認する。
				型枠	1スパンに1回以上	代表箇所1枚	・組立後、幅、高さを確認する。
				コンクリート 打設	1橋に1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。
				養生	1橋に1回	代表箇所1枚	・養生の状況を撮影する。
				幅、高さ	1スパンに1回	代表箇所1枚	・脱型後、幅、高さを確認する。
				プレストレッ シング	1橋に1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。
				グラウチング	1橋に1回	代表箇所1枚	・施工状況を撮影する。
9 コンクリート橋上部工	12 橋梁付属物工	4 地覆工	地覆工	鉄筋	1スパンに1回	代表箇所1枚	・間隔、本数、かぶりを確認 する。
				型枠	1スパンに1回	代表箇所1枚	・据付状況、完了等について 撮影する。
				打設	1スパンに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
9 コンクリート橋上部工	12 橋梁付属物工	6 橋梁用高欄工	高欄工	高欄組立	1橋に1回	代表箇所1枚	・作業状況を撮影する。
				組立寸法	1橋に1回	代表箇所1枚	・高さ、間隔を確認する。

第 10 章 鋼橋上部 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
10 鋼橋 上部			運搬	積込	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 施工状況を撮影する。
				運搬	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 施工状況を撮影する。
				荷卸	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 施工状況を撮影する。
10 鋼橋 上部	3 工場 製作 工		工場製作	原寸図作成	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 作業状況を撮影する。
				切断	適宜	代表箇所1枚	
				孔あけ	適宜	代表箇所1枚	・ 作業状況を撮影する。
				溶接	適宜 溶接方法ごとに1回以上	代表箇所1枚	・ 作業状況を撮影する。
				放射線透過試験	適宜	不要	・ 検査状況を撮影する。
				仮組立	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 作業状況を撮影する。
				仮組立検査	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 検査状況を撮影する。
				工場塗装	部材別(主桁・横構等)に各層ごと1回	代表箇所1枚	・ 作業状況を撮影する。
				塗幕厚測定	部材別(主桁・横構等)に1回	代表箇所1枚	・ 測定状況を撮影する。
				塗料	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 使用数量を確認する。
10 鋼橋 上部	4 鋼橋 架設 工		架設工	地組	1橋に1枚または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 施工状況を撮影する。
				架設	部材別(主桁・横構等)に1回	代表箇所1枚	・ 施工状況を撮影する。
				ボルト締付検査	1スパン1回	代表箇所1枚	・ 検査状況を撮影する。
				キャンバー測定	1スパン1回	代表箇所1枚	・ 測定状況を撮影する。
				伸縮装置	箇所ごと1回	代表箇所1枚	・ 設置終了後の状況を確認する。

第 10 章 鋼橋上部 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
10	鋼橋上部	4	10 鋼橋架設工 支 承 工	据付状況	支承端ごと1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・無収縮モルタル等施工状況を撮影する。 ・設置終了後の状況を確認する。
				設置状況	支承端ごと1回	代表箇所1枚	
10	鋼橋上部	5	橋梁現場塗装工 現場塗装工	現場塗装	部材別(主桁・横構等)に各層ごと1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・作業状況を撮影する。 ・測定状況を撮影する。 ・使用数量を撮影する。
				塗幕厚測定	部材別(主桁・横構等)に1回	代表箇所1枚	
				塗料	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	
10	鋼橋上部	6	2 床版工 床版工	型枠組立	1スパン1回以上	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・組立後、幅、長さ、高さを撮影する。 ・組立後、位置、間隔、継手長を撮影する。 ・打設状況を撮影する。 ・養生状況を撮影する。 ・脱型後、撮影する。
				鉄筋組立	1スパン1回以上	代表箇所1枚	
				コンクリート打設	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	
				養生	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	
				幅、長さ、高さ	1スパン1回	代表箇所1枚	

第 10 章 鋼橋上部 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
10	鋼橋上部	7 5	橋梁付属物工 地覆工	9-12-4 地覆工に準ずる。			
10	鋼橋上部	7 7	橋梁付属物工 高欄工	9-12-6 高欄工に準ずる。			
10	鋼橋上部	9	橋梁舗装工	敷均し	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	・ 施工状況を確認する。
				転圧	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	
				寸法	1橋に1回または1工事に1回	代表箇所1枚	

第14章 道路 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法	
				撮影項目	撮影頻度	整理条件		
14 道路	3 土工		土工	表土すき取り	1工事に2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。	
				切盛土、流用土、運搬土	400mに1回	代表箇所1枚	・施工機械の稼働状況	
				側溝掘削	400mに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。	
				側溝断面	300mに1回	代表箇所1枚		
				路床切盛、転圧(層ごと)	300mに1回	代表箇所1枚(層ごと)	・施工機械の稼働状況及び仕上げ作業の全景を撮影する。	
				ブルーローリング	片側延長300mに1回	代表箇所1枚	・荷重車両及び確認状況を撮影する。	
				路床幅	200mに1回	代表箇所1枚	・転圧後、撮影する。	
				路床排水断面	片側延長300mに1回	代表箇所1枚		
				排水管等布設	片側延長300mに1回	代表箇所1枚		
				排水管充填砂利	片側延長400mに1回	代表箇所1枚	・布設状況を確認する。	
				路肩断面	片側延長400mに1回	代表箇所1枚	・締固め状況を確認する。	
				路肩施工	片側延長400mに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。	
				横断排水	片側延長400mに1回	代表箇所1枚		
14 道路	10 路盤工	3 路盤工	凍上抑制層、下層路盤工	材料まき出し	500mに1回	代表箇所1枚	・まき出し状況及びまき出し厚さを確認する。	
				転圧	500mに1回(層ごと)	代表箇所1枚(層ごと)	・転圧回数を確認する。	
				幅	200mに1回	代表箇所1枚		
				締固め度	1工事に1回	不要	・測定方法を確認する。	
				ブルーローリング(下層路盤工)	片側延長300mに1回	代表箇所1枚	・荷重車両及び確認状況を撮影する。	
				歩道工	路床施工	片側延長400mに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
					路床幅、舗装幅	片側延長200mに1回	代表箇所各1枚	
					凍上抑制層、路盤厚	片側延長200mに1回	代表箇所1枚	・掘削せん孔し、水平に近い方向から撮影する。
					舗装厚	片側延長200mに1回	代表箇所1枚	・抜取コアの測定状況。
		敷均し、転圧	1日2回		代表箇所1枚	・機械または人力の作業状況を確認する。		
		縁石工	片側延長400mに1回		代表箇所1枚	・据付状況。		
		取付道路工	土工	タイプ別に代表的な箇所を1回	代表箇所1枚	・各施工段階ごとに撮影する。		
			路盤工	タイプ別に代表的な箇所を1回	代表箇所1枚			
			厚さ・幅・延長	タイプ別に代表的な箇所を1回ずつ	代表箇所1枚			

第14章 道路 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法	
				撮影項目	撮影頻度	整理条件		
14	11	3	上層路盤工 (アスファルト安定処理)	路盤面清掃	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・路盤面状況及び清掃状況。	
				型枠	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・設置状況。	
				プライムコート	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・散布状況及び散布量を確認する。 ・養生砂の散布状況。	
				合材運搬	1日1回	代表箇所1枚	・トラック荷台内面の清掃状況。 ・トラックのシートを確認する。	
				敷均し温度	2,000㎡または、1日2回	代表箇所1枚	・測定状況。	
				混合物温度	午前、午後各1回	代表箇所1枚	・プラントでの測定状況。	
				敷均し、転圧	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。	
				幅	200mに1回	代表箇所1枚	・型枠取外し後、測定する。	
				表層、基層工	型枠	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・設置状況、継目位置及び厚さを確認。
					タックコート	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・散布状況継目の施工及び散布量を確認する。
			合材運搬		1日1回	代表箇所1枚	・トラック荷台内面の清掃状況。 ・トラックのシートを確認する。	
			敷均し運搬		2,000㎡または、1日2回	代表箇所1枚	・測定状況。	
			混合物温度		午前、午後各1回	代表箇所1枚	・練上り後プラントで測定。 ・但し、混合温度を変更した場合はその都度測定。	
			敷均し、転圧		1日2回	代表箇所1枚	・敷き均し、転圧状況。 ・フィニッシャーの舗装状況、初転圧、2次転圧及び継目転圧等の状況。	
			幅		表層 400mに1回 基層 200mに1回	代表箇所1枚	・基層、表層夫々の型枠取外し後測定する。	
			厚さ		幅の測定2回に対して1回	代表箇所1枚	・コア-抜取状況及び厚さの測定状況。 ・全層で抜取り現地で一辺の厚さを確認する。	
			平坦性		1路線1回	代表箇所1枚	・測定状況。	
			区画線		1路線1回	代表箇所1枚	・実線、破線別に施工状況及び間隔等を確認する。	

第 14 章 道路 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
14 道路	11 舗装工	4 コンクリート舗装工	コンクリート舗装	路盤面確認	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・路盤面状況及び清掃状況。
				型枠	2スパンに1回	代表箇所1枚	・据付状況、完了等について撮影する。
				鉄鋼、縁部補強鉄筋	全景及び各断面ごと細部について1回ずつ	代表箇所1枚	・鉄鋼の設置及び重ね継手、かぶりを確認する。
				目地	5スパンに1回	代表箇所1枚	・縦・横の目地材、タイバー等の設置状況を撮影する。
				荷卸、敷均し	400mに1回	代表箇所1枚	・荷卸方法、荷卸高さを確認する。 ・敷均し状況及びスロップ返しを確認する。
				締固め	400mに1回	代表箇所1枚	・バイブレータの台数、施工状況を撮影する。
				荒、平坦、粗面、仕上	400mに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				養生	400mに1回	代表箇所1枚	・養生状況を撮影する。
				幅、厚さ	200mに1回	代表箇所各1枚	・脱型後に確認する。
				平坦性	1路線1回	代表箇所1枚	・測定状況
14 道路	11 舗装工	7 路面切削工	路面切削工	幅、厚さ	1施工箇所1回（施工後）	代表箇所各1枚	

第 15 章 客土 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
15 客土	3 客土	1 客土準備工	土取場	表土剥	1土取場1回ずつ	代表箇所1枚	・作業状況及び剥取厚について撮影する。
				掘削、積込	1土取場1回ずつ	代表箇所1枚	
				抜坪試験	試験時ごと	代表箇所1枚	・作業状況及び表土厚について撮影する。
				原形復旧	施工段階ごと	代表箇所1枚	
				表土戻し	1土取場1回ずつ	代表箇所1枚	
15 客土	3 客土	5 大運搬工	大運搬	運搬道路	新設・既設道路 主たる路線ごと	代表箇所1枚	・利用状況、作工物状況、路面状況を撮影する。
				ダンプトラック	1工事3～5回	代表箇所1枚	・規格、ナンバープレート等を確認する。 ・工事名を表す標識について撮影する。 ・1回の積載状況、シートがけの状況、トラックスケール測定状況を撮影する。
				運搬路保守	主たる路線ごと	代表箇所1枚	・土取場出発時における清掃状況、路面の清掃状況。 ・ほこり防止の散水状況。
				運搬路補修	補修指定ヶ所につき 運搬前後	代表箇所1枚	・敷砂利については、幅・厚さを確認する。 ・アスファルト舗装については、施工状況、量について確認する。 ・横断管等作工物については、内容を確認する。
				安全管理	管理状況及び、設置ヶ所ごと	代表箇所1枚	・交通規制等指定したものについては標識等を撮影する。 ・交差点、踏切等におけるガードマン、見張小屋等について確認する。 ・安全巡回車等自主的安全管理状況について撮影する。
				直搬後の堆積	水田：10ha毎に1回 畑：10ha毎に1回	代表箇所1枚	・堆積状況が確認できるように撮影する。

第 15 章 客土 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
15 客土	3 客土	6 小運搬工	中継所	中継所全景	代表地1回	代表箇所1枚	・ 造成前の状況
				中継所造成	代表地1回	代表箇所1枚	・ 造成方法及び状況
				堆積	代表地1回	代表箇所1枚	・ 客入土の堆積状況について撮影する。
				中継所撤去	代表地1回	代表箇所1枚	・ 撤去方法及び撤去状況。 ・ ほ場内に設置した場合は、 散布程度を確認する。
			ほ場	小運搬	水 田：10ha毎に1回 畑：10ha毎に1回	代表箇所1枚 代表箇所1枚	・ 作業状況を確認する。
				小運搬後の堆積	水 田：10ha毎に1回 畑：10ha毎に1回	代表箇所1枚 代表箇所1枚	・ 堆積状況が確認できるよう撮影する。
				散布	水 田：10ha毎に1回 畑：10ha毎に1回	代表箇所1枚 代表箇所1枚	・ 作業状況を確認する。
15 客土	3 客土	7 攪拌工	攪拌	施工状況	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・ 攪拌前の表土(上部搬入土・ 下部現況表土)の状況がわかるように撮影。
				施工深測定	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・ 攪拌後の状況がわかるように撮影。

第16章 暗渠排水 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
16 暗渠排水			資材	管種、管長、管径	1工事種別ごと1回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプまたは、スケール等をあてて撮影する。 ・水閘管は、仮組立し、工場名、製品名等を確認する。 ・被覆状況を説明できる写真を地上で撮影する。 ・麦ワラ等の天然物については、単位当りの使用量を確認する。
				疎水材	1工事種別ごと1回	代表箇所1枚	
16 暗渠排水	3 暗渠排水工	1 暗渠排水工	掘削	施工状況	水田：1工事ごとに2回 畑：1工事ごとに2回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・掘削作業状況及び掘削深の調整方法を確認する。 ・掘削底面より地表面までの深さで確認する。 ・下流から上流に向け、水平に近い角度で撮影する。
				深さ	(水田) 吸水渠：5haに1ヶ所 集水渠：5haに1ヶ所 (畑) 吸水渠：5haに1ヶ所 集水渠：5haに1ヶ所 (1路線を選定し上下流を撮影)	代表箇所1枚	
				間隔	5haに1ヶ所	代表箇所1枚	
			管布設	布設	水田：5haに1ヶ所 畑：5haに1ヶ所	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・管布設作業の状況及び管のズレ等について確認する。
				疎水材の施工	水田：5haに1ヶ所 畑：5haに1ヶ所	代表箇所1枚	
			埋戻し	施工状況	水田：1工事ごとに2回 畑：1工事ごとに2回	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・作業状況を撮影し、人力埋戻しと機械埋戻しの区分を確認する。 ・人力(ワラ等)での突固め状況を確認する。
				水閘、落口の施工	水閘管、立上り管は、1工事ごとに2回 落口は、1工事ごとに2回	代表箇所1枚	

第 19 章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
19 農用地・草地工事	3 農用地整備工	2 改良山成工	改良山成工	表土剥	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・剥取厚の測定状況を撮影し、同時に施工状況を確認する。
				表土堆積	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・堆積状況及び堆積ヶ所が確認できるよう撮影する。
				基盤切盛	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				基盤整地	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				表土戻し	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況及び施工後、削孔として表土厚を確認する。
				法面整形工	1工事ごと1回	代表箇所1枚	・盛土状況、転圧状況を確認する。
				法面保護	1工事ごと、施工段階ごと1回	代表箇所1枚	・施工状況及び施工面積が確認できるよう撮影する。
				承水路工	1工事ごと、施工段階ごと1回	代表箇所1枚	・施工状況及び施工延長、断面を確認する。
19 農用地・草地工事	4 農用地造成工	2 除排根工	除排根工	除排根	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				準備排水工	路線ごと1回	代表箇所1枚	・施工状況及び断面について確認する。

第19章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法		
				撮影項目	撮影頻度	整理条件			
19	農用地・草地工事	4	農用地造成工	4	畑面処理工	耕起	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況及び耕起回数を確認する。
						耕起深測定	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・耕起した側面に箱尺をあてて撮影する。
						砕土	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況及び砕土回数を確認する。
						土壌改良資材	1工事ごと2回	代表箇所1枚	・資材の種別ごとに積み上げて撮影する。 ・炭カルは大量となるので、袋数が確認できるようにし、堆積した側面にスプレー等で数量を表示する。 ただし、納品書等により袋数が確認できる場合は、側面へのスプレー等による数量表示を省略することができる。
						種子・肥料	堆積ヶ所ごと1回	代表箇所1枚	・資材の種別ごとに積み上げて撮影する。 ・肥料は大量となるので、袋数が確認できるようにし、堆積した側面にスプレー等で数量を表示する。 ただし、納品書等により袋数が確認できる場合は、側面へのスプレー等による数量表示を省略することができる。
						土壌改良剤散布	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・散布状況を確認する。 ・散布が均等であることを確認する。
						土壌改良剤、攪拌	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
						PH測定	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・測定状況を確認する。

第 19 章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
19 農用地・草地工事	4 農用地造成工	5 改良山成工	改良山成工	表土剥	19-3-2改良山成工に準ずる。		
				表土堆積			
				基盤切盛			
				基盤整地			
				表土戻し			
				法面整形工			
				法面保護			
			承水路工				
			耕起	19-4-4畑面処理工に準ずる。			
			耕起深測定				
			碎土				
			土壤改良資材				
			土壤改良剤散布				
			土壤改良剤、攪拌				
PH測定							

第19章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
19 農用地・草地工事	5 草地整備工	1 起伏修正工(一)	起伏修正(Ⅰ)	耕起	19-4-4畑面処理工に準ずる。		
				耕起深測定			
				砕土			
				土壌改良資材			
				土壌改良剤散布			
				土壌改良剤、攪拌			
				PH測定			
				鎮圧	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
施肥、播種	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。 ・牧草の生育について、マメ科根長及びイネ科発芽本数を確認する。 ・測定状況を含む近景を撮影。				
19 農用地・草地工事	5 草地整備工	2 起伏修正工(二)	起伏修正(Ⅱ)	表土剥	19-4-5改良山成工に準ずる。		
				表土堆積			
				基盤切盛			
				基盤整地			
				表土戻し			
				法面整形工			
				法面保護			
				承水路工			
				耕起			
				耕起深測定			
				砕土			
				土壌改良資材			
				土壌改良剤散布			
				土壌改良剤、攪拌			
				PH測定			
				鎮圧	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
施肥、播種	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。 ・牧草の生育について、マメ科根長及びイネ科発芽本数を確認する。 ・測定状況を含む近景を撮影。				

第 19 章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
19 農用地・草地工事	6 草地造成工	1 草地造成工(Ⅰ)	草地造成(Ⅰ)	除排根	19-4-2 除排根工に準ずる。		
				耕起	19-4-4 畑面処理工に準ずる。		
				耕起深測定			
				砕土			
				土壌改良資材			
				土壌改良材散布			
				土壌改良材、攪拌			
				PH測定			
				鎮圧	19-5-1 起伏修正(Ⅰ)に準ずる。		
				施肥、播種			
				19 農用地・草地工事	6 草地造成工	2 草地造成工(Ⅱ)	
表土堆積	19-3-2 改良山成工に準ずる。						
基盤切盛							
基盤整地							
表土戻し							
法面整形工							
法面保護							
承水路工							
耕起	19-4-4 畑面処理工に準ずる。						
耕起深測定							
砕土							
土壌改良資材							
土壌改良材散布							
土壌改良材、攪拌							
PH測定							
鎮圧	19-5-1 起伏修正(Ⅰ)に準ずる。						
施肥、播種							

第19章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
19 農用地・草地工事	10 石礫除去工	1 石礫除去工	石礫除去工	採礫、ふるい	1ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				除礫層深測定	1ha毎に1回	代表箇所1枚	・深さの確認。
				積込、運搬	1ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				堆積	堆積ヶ所ごと1回	代表箇所1枚	・施工状況及び除礫量を確認できるよう撮影する。
				整地	1ha毎に1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				無礫層深	1ha毎に1回	代表箇所1枚	・深さが確認できるように撮影。
19 農用地・草地工事	11 基盤改良	1 心土破碎工・透水渠工	心土破碎	施工状況	10ha毎に1回	代表箇所1枚	
				施工深・間隔	10ha毎に1回	代表箇所1枚	・爪の進入長、破碎間隔を撮影。
19 農用地・草地工事	12 隔障物工	1 隔障物工	隔障物	本支柱打込	1kmまたは1ほ場当り1回	代表箇所1枚	・作業状況を撮影する。
				張線	1kmまたは1ほ場当り1回	代表箇所1枚	・作業状況を撮影する。
				本支柱打込深	1kmまたは1ほ場当り1回	代表箇所1枚	・地上高を撮影する。
				本支柱間隔	1kmまたは1ほ場当り1回	代表箇所1枚	・間隔を撮影する。
				張線間隔	1kmまたは1ほ場当り1回	代表箇所1枚	・間隔を撮影する。
				資材	種別・規格ごと1回		

第19章 農用地・草地工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
19 農用地・草地工事	12 隔障物工	3 パドック工	路床工	切盛、転圧	1施設2回	代表箇所1枚	・施工機械の稼働状況及び仕上作業の全景を撮影する。
				幅	1施設2回	代表箇所1枚	
			凍上抑制層工	材料まき出し	1施設2回	代表箇所1枚	・まき出し状況及びまき出し厚さを確認する。
				転圧	1施設2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				幅, 厚さ	1施設2回	代表箇所1枚	・厚さについては削孔して撮影する。
				締固め度測定	1施設1回	代表箇所1枚	・測定方法を確認する。
			安定処理路盤工	材料まき出し	1施設2回	代表箇所1枚	・まき出し状況を確認する。
				混合攪拌	1施設2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				不陸整正	1施設2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				転圧	1施設2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
			表層工	幅	1施設2回	代表箇所1枚	・打設状況を撮影する。 ・仕上状況、養生状況を撮影する。 ・コア-抜取状況及び厚さの測定状況を撮影する。 ・安定処理路盤と重ねて抜き取り、境目を赤線で区別する。
				厚さ	1施設2回	代表箇所1枚	
				表層打設	1施設2回	代表箇所1枚	
				仕上、養生	1施設2回	代表箇所1枚	

堆肥盤・バンカーサイロ 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
			土工	切盛、転圧	1施設2回	代表箇所1枚	・施工機械の稼働状況及び仕上げ作業の全景を撮影する。
				幅、長さ	1施設2回	代表箇所1枚	・転圧後、定規を使用して撮影する。
			基礎砂利 (含む凍上対策用)	材料まき出し	1施設2回	代表箇所1枚	・まき出し状況及びまき出し厚さを確認する。
				転圧	1施設2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				幅、長さ、厚さ	1施設2回	代表箇所1枚	・厚さについては削孔して撮影する。
			コンクリート構造物	鉄筋組立	全景及び各断面ごと細部について1回ずつ	代表箇所1枚	・間隔、全体の本数、かぶりを確認する。 ・アルバムには鉄筋配置図と対比する。
				型枠組立		代表箇所1枚	・据付状況、完了等について撮影する。
				伸縮継目	作工物ごと1回	代表箇所1枚	・幅・長さ等を確認する。
				打継目	1ヶ所ごと1回	代表箇所1枚	・レイトン除去、清掃状況を撮影する。
				コンクリート打設	作工物ごと1回	代表箇所1枚	・シュートの状況、ミキサー車の位置、小運搬の状況等。 ・突固め状況及びバブブレーカーを撮影する。
				厚さ、幅、高さ	不可視部分は各断面ごと1回	代表箇所1枚	・可能な限り1枚の写真で厚さ、幅、高さを同時に確認する。 ・脱型後の幅、厚さ等について撮影する。
				仕上・養生 均しコンクリート	作工物ごと1回 作工物ごと1回	代表箇所1枚 代表箇所1枚	・養生状況を撮影する。

第 20 章 植栽 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
20	植栽	1	植木	運搬状況	1工事に1回	代表箇所1枚	・運搬の状況
				樹木形状	樹種ごとに50本に1回	代表箇所1枚	・樹姿形状が確認できるよう撮影する。
			植付け	植穴	樹種ごとに50本に1回	代表箇所1枚	・植穴の径・深さが確認できるよう撮影する。
				植付状況	樹種ごとに50本に1回	代表箇所1枚	・埋戻し土（客土）の充填状況を撮影する。
			支柱	支柱材料	1工事に2回程度	代表箇所1枚	
				設置状況	樹種ごとに50本に1回	代表箇所1枚	・設置作業状況を撮影する。
			植栽	状況	樹種ごとに50本に1回	代表箇所1枚	・施工後の支柱・水鉢等が確認できるよう撮影する。

第 23 章 区画整理工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
23	区画整理工事	3	整地工	表土剥	5haに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				剥取厚	5haに1回	代表箇所1枚	・堆積場所が確認できるよう撮影する。
				表土堆積	堆積ヶ所ごと1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				基礎切盛	5haに1回	代表箇所1枚	・測定状況は、1耕地全景を撮影する。
				均平度	5haに1回	代表箇所1枚	・表土剥の撮影を行った以外の耕地で撮影する。
				表土戻し	5haに1回	代表箇所1枚	・均平終了後削孔して表土厚を確認する。
				表土整地	5haに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				畦畔築立	5haに1回	代表箇所1枚	・転圧状況を確認する。
				畦畔断面	5haに1回	代表箇所1枚	・天端幅・高さを同時に確認する。
			整地工 (反転均平)	心土破碎 (準備工)	5haに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				耕起	5haに1回 1現況耕地ごとに1回 設定耕深明示の上撮影	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。 ・反転均平Ⅱ工法の場合は運土前、運土後の耕起作業の両方を左記のとおり管理する。
				運土	5haに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				整地	5haに1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				23	区画整理工事	8	V、Uトラフ水路
				基礎砂利	1路線につき1回	代表箇所1枚	・転圧状況を確認する。
				布設	1路線につき1回	代表箇所1枚	・施工状況及び間隔について撮影する。
				目地	200mに1回	代表箇所1枚	・設置状況を確認する。
23	区画整理工事	10	土水路	掘削	1路線につき1回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				敷幅、高さ、法長	100mに1回	代表箇所1枚	・可能な限り1回で全体が確認できるよう撮影する。
23	区画整理工事	11	支線農道	造成幅員	200mに1回	代表箇所1枚	・敷砂利施工後、1枚の写真で全部を確認する。
				敷砂利幅、厚さ	200mに1回	代表箇所1枚	・敷砂利施工後、1枚の写真で全部を確認する。

第 24 章 砂利道路路面処理工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
24			表面処理	砂利散布状況	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	<ul style="list-style-type: none"> ・施工状況を確認できるよう撮影する。 ・施工状況を確認できるよう撮影する。 ・施工状況を確認できるよう撮影する。
				乳剤散布状況	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	
				転圧状況	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	
				幅	200mに1回	代表箇所1枚	
24	3		路盤処理	材料試験	試験日ごとに1回	代表箇所1枚	・試験状況を撮影する。
				在来砂利層の不陸整正	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・施工状況を確認できるよう撮影する。
				補足材の敷均し	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・施工状況を確認できるよう撮影する。
				セメント散布状況	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・セメント配置、散布状況を撮影する。
				乳剤散布及び混合	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・施工状況を確認できるよう撮影する。
				混合厚の確認	1日2回	代表箇所1枚	・混合厚を撮影する。
				一次転圧	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・施工状況を確認できるよう撮影する。
				整正	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・施工状況を確認できるよう撮影する。
				品質管理試験	1路線2箇所程度	不要	・試験状況を撮影する。
				厚さ	1路線2箇所程度	代表箇所1枚	・密度試験箇所において削孔し、確認する。
				幅	200mに1回	代表箇所1枚	

第 25 章 海岸保全施設整備工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
25			一般事項	汀線全景	1kmに3回	代表箇所1枚	・着工直前の全景を撮影する。
				背後地状況	1工事に2回	代表箇所1枚	・建物、工作物等の存在を確認する。
			仮締切	矢板張	種別ごと1回	適宜	・ペンキ等で矢板番号及び1.0m間隔に矢板長を表示する。
				建込及び打込	矢板10枚または、施工延長40mに1回	代表箇所1枚	・最初の矢板建込については、位置、傾斜が確認できるようにする。
				打込終了状況	1工事に2回	代表箇所1枚	・全体及び天端高が確認できるよう撮影する。
矢板以外の締切	1工事に2回	代表箇所1枚	・断面寸法、天端高が確認できるよう撮影する。				
25	5	3	捨石工	材料	1工事に2回	適宜	・代表的な、石の重量及び大きさの測定状況。
				床均し	200mに1回	代表箇所1枚	・捨石投入直前の状況。
				捨石布石	200mに1回	代表箇所1枚	・施工直前に撮影し、出来形を確認する。 ・状況変化があった場合は、その都度撮影する。
				敷幅、積高、天端幅、基準高	100mに1回	代表箇所1枚	

第 25 章 海岸保全施設整備工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
25	6		護岸工	掘削幅、深さ	100mに1回	代表箇所1枚	・1枚の写真で掘削幅・深さを確認する。
				掘削状況	400mに1回	代表箇所1枚	・掘削状況を確認する。
				水替状況	設置ヶ所ごと2回	代表箇所1枚	・施工状況を確認する。
				矢板張	種別ごと1回	代表箇所1枚	・ベンチ等で矢板番号及び10m間隔に矢板長を表示する。
				建込及び打込	工事に2回	代表箇所1枚	・最初の矢板建込については、位置、傾斜が確認できるようにする。
				打込終了状況	1工事に2回	代表箇所1枚	・全体及び天端高が確認できるよう撮影する。
				基礎砂利、均し コンクリート 等の厚さ、幅	100mに1回	代表箇所1枚	・水平に近い方向で測定孔の底まで見えるようにし、1枚の写真で厚さ・幅とも確認できるように撮影する。
				基礎砂利、均し コンクリート 等の施工状況	200mに1回	代表箇所1枚	・材料投入前の状況及び転圧状況。
				型枠組立	60mに1回	代表箇所1枚	・据付状況、完了等について撮影する。
				鉄筋組立	全景及び各断面ごと細部について1回ずつ	代表箇所1枚	・間隔全体の本数、かぶりを確認する。 ・アルバムには、鉄筋配置図と対比する。
				打設状況	200mに1回	代表箇所1枚	・シートの状況、ミキサー車の位置、小運搬の状況等。 ・突固め状況及びバイブレーターを撮影する。
				打継目	1ヶ所ごとに1回	代表箇所1枚	・レタックス除去、清掃状況を撮影する。
				養生状況	200mに1回	代表箇所1枚	・養生状況を撮影する。
				厚さ、幅、高さ	60mに1回	代表箇所1枚	・可能な限り1枚の写真で、厚さ・幅・高さを同時に確認する。
				ジョイント部分	200mに1回	代表箇所1枚	・止水板、目的材、ダウエルバーの設置状況。

第 25 章 海岸保全施設整備工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
25 海岸保全施設整備工事	10 根固め工	4 根固めブロック工	根固ブロック	ブロックヤード全景	1工事に2回	代表箇所1枚	・現況を撮影する。
			型枠	1工事に2回	代表箇所1枚	・保管の状況及び概数がわかるように撮影する。	
			型枠組立	1工事に2回	代表箇所1枚	・組立状況を、箱尺等をあて、撮影する。 ・コンクリート打設前の配列状況。	
			コンクリート打設	搬入型枠の個数を1組とし、その1組の1サイクル毎に1回（1組の1サイクルとは全ての型枠が1回の打設工程を完了するまでをいう。）	代表箇所1枚	・シュートの状況、ミキサー車の位置、小運搬の状況等。 ・突固め状況及びバンプレターを撮影する。	
			養生	搬入型枠の個数を1組とし、その1組の1サイクル毎に1回（1組の1サイクルとは全ての型枠が1回の打設工程を完了するまでをいう。）	代表箇所1枚	・養生方法、レリタス除去、掃除後の状況。	
			脱型	搬入型枠の個数を1組とし、その1組の1サイクル毎に1回（1組の1サイクルとは全ての型枠が1回の打設工程を完了するまでをいう。）	代表箇所1枚	・脱型の状況を撮影する。 ・製造順に番号及び製造年月日、（コンクリート打設日）をペンキ等で記入する。	
			強度測定	搬入型枠の個数を1組とし、その1組の1サイクル毎に1回（1組の1サイクルとは全ての型枠が1回の打設工程を完了するまでをいう。）	不要	・横持ち等の移動を行う前のシュミットマーによる測定状況。	
			寸法測定		代表箇所1枚	・強度測定で撮影した以外のものについて撮影する。	
			ブロック移動	1工事に2回	代表箇所1枚	・移動方法及びワイヤのかけ方、フック金具の吊り方を確認する。	
			据付基面	200mに1回	代表箇所1枚	・据付工事直前の状況を確認する。	
			据付状況	200mに1回	代表箇所1枚	・作業状況を確認する。 ・海上据付については、作業船の配置状況、人員の編成について確認する。	
						敷幅、積高、天端幅、基準高	200mに1回
25 海岸保全施設整備工事	11 消波工	4 消波ブロック工	消波ブロック	25-10-4 根固ブロック工に準ずる。			

第 26 章 ため池改修工事 撮影箇所一覧

章	節	条	工 種	写真管理項目			撮影方法
				撮影項目	撮影頻度	整理条件	
26 ため池改修工事	3 堤体工	10 堤体盛立工	堤体工	盛土幅員	20m～40mに1回	代表箇所1枚	・法長、法面（芝）
				まき出し厚さ	20m～40mに1回	代表箇所1枚	
				転圧	20m～40mに1回	代表箇所1枚	
				法長、法面、法勾配	20m～40mに1回	代表箇所1枚	
26 ため池改修工事	5 洪水吐工	1 洪水吐工	洪水吐工	配筋	2 スパンに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
				型枠、コンクリート	2 スパンに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
				打設	2 スパンに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
				打継目	2 スパンに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
26 ため池改修工事	6 取水施設工	1 取水施設工	樋管工 付帯構造物 (土砂吐ゲート等)	配筋	10mに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
				型枠・コンクリート	10mに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
				打設	10mに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
				打継目	10mに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	
				幅、高さ	10mに1回 箇所単位の構造物は適宜	代表箇所1枚	